

予報期間 1月23日から1月29日まで

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 25日においては、日本付近は強い冬型の気圧配置が続く。
- 26日は、高気圧が日本の南に移動し、西から冬型の気圧配置が緩む。
- 27日は、日本付近を低気圧が通過し、28日から29日にかけて日本付近は再び冬型の気圧配置となる。

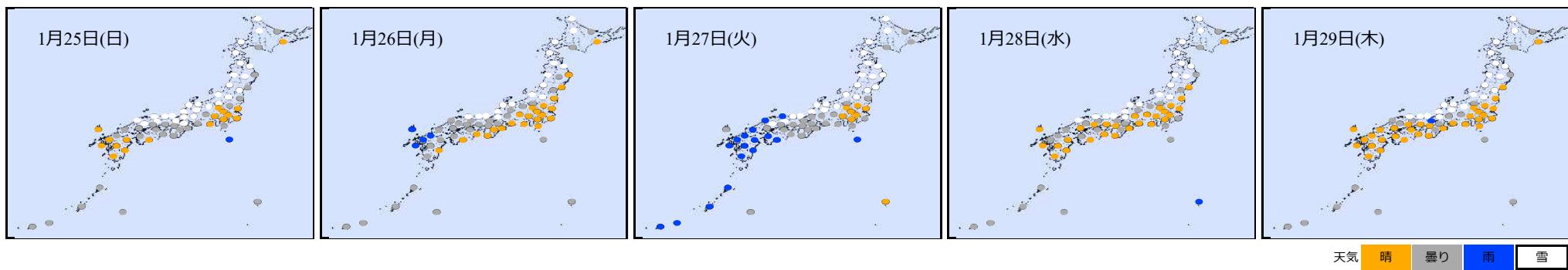
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 25日頃にかけて、強い寒気が南下するため北日本から西日本にかけての日本海側を中心に大雪となり、寒気の程度等によっては警報級の大雪となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

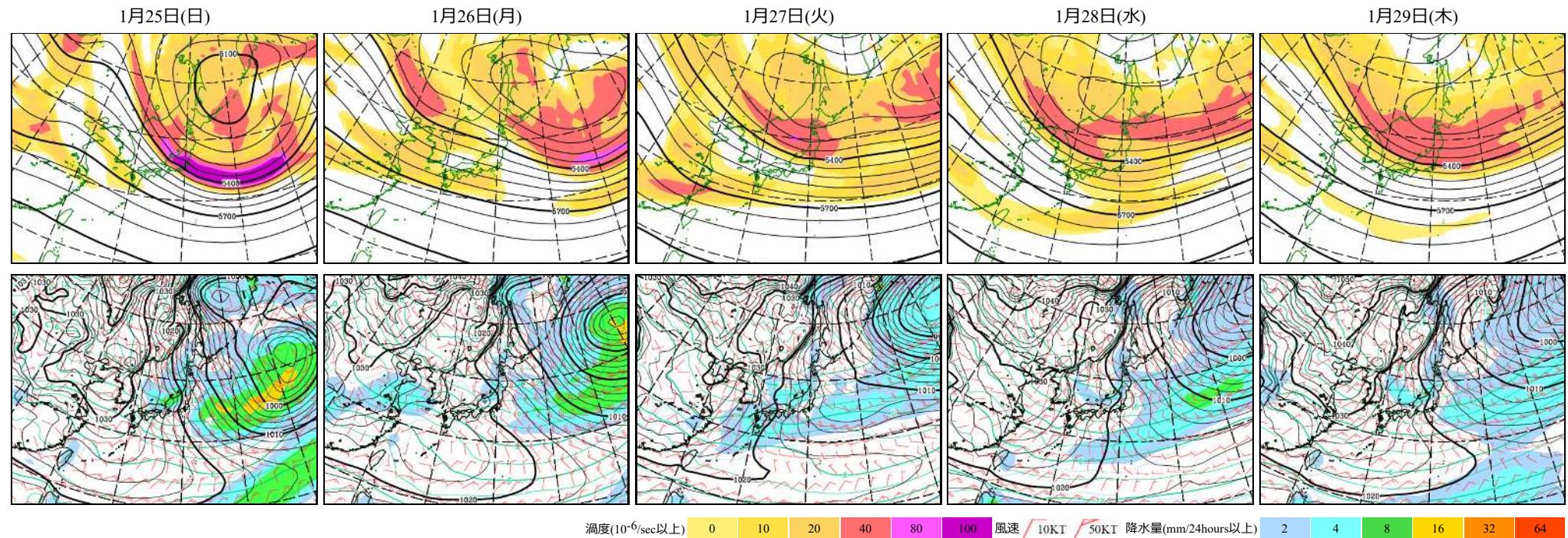
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

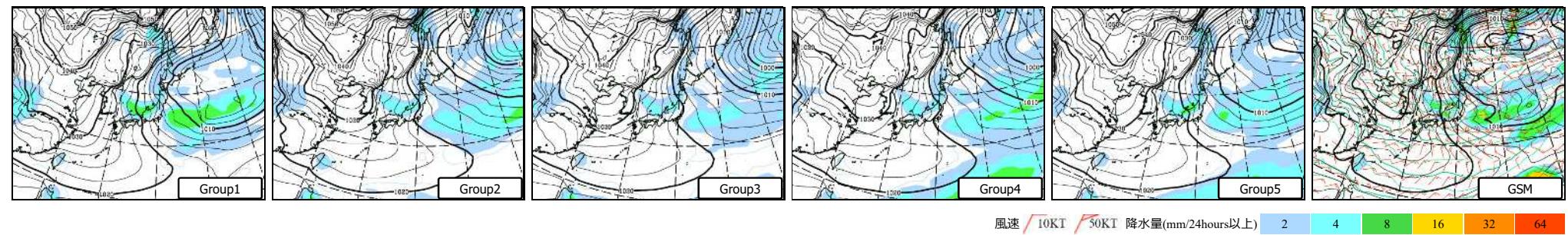


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れや曇りの日が多いが26日と27日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく27日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図:500hPa高度線、渦度 下図:海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆1月29日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはないが、27日から28日にかけて大陸の高気圧の日本付近への張り出しが弱くなった。
- 27日は各モデルでは北日本に低気圧が進む予想となっているが、その強さにはモデル間に差がある。また、27日に日本の南に進む低気圧の位置についてもモデル間の差がある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。